

(別記)

## 令和元年度古平町水田フル活用ビジョン

### 1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当該地域は、全耕作面積に占める主食用米面積の割合が約50%であり、転作作物の占める割合は飼料用米の面積が多く、主食用米の需要が減少する中で他の作物の作付に転換を促進することで、水田面積の維持を図っていく必要がある。

また、農家の高齢化が進んでおり、農家戸数の減少がみられるとともに不作付地の拡大が進んでいる。こうした中、水稲作付面積の維持が課題となっている。

### 2 作物ごとの取組方針等

町内の水田について、適地適作を基本として、産地交付金を有効に活用しながら、作物生産の維持拡大を図ることとする。

#### (1) 主食用米

売れる米作りの徹底によって米の主産地としての地位を確保し前年の需要動向や集荷業者等の意向を勘案しつつ、米の生産を行う。また、近年の北海道産酒造好適米の需要増加に伴い、本町でも酒造好適米の作付を奨励する。

#### (2) 非主食用米

##### ア 飼料用米

主食用米の需要減が見込まれる中、飼料用米の転作を推進する。飼料用米の生産拡大にあたっては、国からの産地交付金を活用した多収性専用品種の導入推進及び団地化の推進を図り、平成31年には、地域水田面積の約2割での導入を目指す。

#### (3) 不作付地の解消

現行の不作付地については、令和2年で約2割を飼料用米の作付により解消を図る。

### 3 作物ごとの作付予定面積

作物	前年度の作付面積 (ha)	当年度の作付予定面積 (ha)	2020年度の作付目標面積 (ha)
主食用米	13.5	13.5	13.5
飼料用米	2.0	2.0	2.5
酒造好適米	1.0	1.0	1.2
米粉用米			
新市場開拓用米			
WCS用稲			
加工用米			
備蓄米			
麦			
大豆			
飼料作物			
そば			
なたね			
その他地域振興作物			
野菜			
・			
・			
・			

### 4 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	目標値	
				前年度（実績）	目標値
1	飼料用米	飼料用米助成	1. 作付面積 2. 単収	(2018年度) 2.0ha (2018年度) 479kg	(2020年度) 2.5ha (2020年度) 485kg

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定して下さい。

※ 目標期間は3年以内として下さい。

### 5 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり